

横浜ゴムグループが扱う 次世代商品

横浜ゴムは、主力製品のタイヤから、社会のあらゆるところで皆さまの暮らしを支えているMB商品に至るまで、幅広いラインアップの製品を取りそろえています。

ここでは、「社会からゆるぎない信頼を得ている地球貢献企業」になるための、次世代を担う商品の一部をご紹介します。

「ころがり抵抗」で最高ランクのAAA

BluEarth-1 AAA spec

低燃費グレード最高ランクの新フラッグシップタイヤ

タイヤの環境性能を示す「ころがり抵抗」で最高ランクのAAAを取得している低燃費タイヤ。横浜ゴム独自の「相反する性能の黄金比を追求したナノブレンドゴム」「空気漏れを抑制するAIRTEX」「空気抵抗を低減するディンプルサイドデザイン」「走行時の騒音を低減するサイレントリング」を搭載し、横浜ゴムが追求する「人・社会へのやさしさ」を実現しています。



MEMO

環境賞受賞



2012年2月にフランスで開催されたタイヤビジネス専門展示会「PNEU EXPO (タイヤエキスポ) 2012」の「Pneu Expo Innovations Trophy」で環境賞を受賞しました。

優れた低燃費性能に加え、人や社会への負荷低減を実現した「BluEarth-1」の性能と、長年にわたる継続的な低燃費タイヤ開発が高く評価されたことによるものです。

快適な車いす生活をサポートするクッション

「Medi-Air Sky」

「Medi-Air」シリーズは、車いす用としては世界で初めて底付検知センサーを実用化したクッション。コンピュータ制御により臀部の底付き検知か

ら部分的な除圧のための空気量調整までを、全自動で行う仕様になっていたこれまでの製品に対し、「Medi-Air Sky」は空気量調整を手動で行う

構造とし、自走可能な車いすユーザー向け製品として、「もっと気軽に、もっと自由に」外出を楽しめることをテーマに開発しました。



世界初!!

空気式防舷材モニタリングシステムと荷役作業支援システムの開発



2船体間に配置される空気式防舷材

船舶同士の接舷や、船舶の接岸時に緩衝材として利用される防舷材。横浜ゴムでは、これまで培ってきた空気式防舷材の設計技術と船体動揺解析技術を駆使した2つのモニタリングシステムを開発しました。

世界初となるこの2つのシステムは、船体や岸壁、荷役設備の損傷を防ぐことができ、それらに起因する原油流出などの重大事故防止にも貢献していきます。

空気式防舷材については、p.10でもご紹介していますので、併せてご覧ください。

空気式防舷材の総合モニタリングシステムを開発

空気式防舷材の状態を総合的に監視する「フェンダーモニタリングシステム」。空気式防舷材内部の空気内圧力データを無線伝播で収集し、岸壁から離れた場所で空気式防舷材の内圧状態を監視する仕組みです。

洋上での荷役作業支援システムを開発

空気式防舷材の設計技術と船体動揺解析技術を応用した「2船体操船および係留監視システム」。洋上で2隻のタンカーを接舷し、原油や液化天然ガスを移送する際、船体間の緩衝材として使用される空気式防舷材の状態と2船の操船状況を同時に監視するシステムです。